

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>環境局</b>
-----------	------------

<b>基本計画</b>	<b>柱</b> 環境を未来に引き継ぐ	<b>担当局 / 総務担当課名</b> 環境局	環境モデル都市推進室
	<b>大項目</b> 地域からの低炭素社会への取組み		
	<b>取組みの方針</b> 低炭素社会を実現するストック型社会への転換		
	<b>連絡先</b>	582-2239	

21年度計画

-2-(1)-

<b>施策名</b>	<b>総合的な緑化・森林整備の実施</b>
------------	-----------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	入学や出産など人生の節目に市民に記念樹を配布し、市民による植樹活動を推進し、市民が誇りを持って美しいまちを創るもの。この植樹活動を通じて、野鳥等の生物が生息できる環境づくりやCO2吸収による地球温暖化対策に貢献するとともに、人のこころにやすらぎと潤いを与え、都市と自然が共生する美しいまち・人づくりを目指す。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	低炭素社会を実現するストック型社会への転換

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成20年度		年度	平成24年度	年度	平成24年度
記念樹の配布数	年度	平成20年度	計画	5,000 本	年度	平成24年度	
毎年、記念樹の配布数を5000本(年2回配布)としているため、目標を5000本配布とした。自分の手で育てみようとする喜びや楽しみ方も合わせて啓発する必要がある。	現状値	3352本	実績	2,531 本	目標値	25000本(H20~H24累計)	
			達成度	50.6 %			
100万本植樹	年度	平成20年度	計画	67,000	年度	平成35年	
みんなで植えれば100万本を合言葉に市民のみならず企業・NPO・行政などが市内各地に植樹を行っている。記念樹配布はこのプロジェクトの市民の取り組みになる。記念樹配布は、この100万本植樹を目標に行っているため、指標に挙げた。	現状値	85617本	実績	61,145	目標値	100万本(累計)	
			達成度	91.0 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
<b>コスト</b>	A時点 -	事業費		3,904 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
	B時点 -		うち一般財源	3,904 千円	3,300 千円		
	C時点 22.7月 [21年度:執行額]						

## 局施策に対する担当局の評価

<b>局施策の評価</b>	21年度評価	主な分析理由
	<b>B</b>	記念樹という切り口で、緑化意識の向上をねらうものであり、約2600人(平成21年度累計)の市民に関心を持ってもらったことは一定の評価はできる。 環境首都100万本植樹においても、さまざまな主体が市内各地で実施し、約62,000本(平成21年度累計)を植樹した。
<b>今後の局施策の方向性</b>	緑化意識の向上のためには、「記念樹」という切り口は効果的であり、記念樹プレゼントの周知徹底を図るさらに市民が自分の手で緑を育ててみようとする意識改革につなげる	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

緑化と市民の意識醸成のため記念樹を活用するなど工夫がなされていますが当該年度の目標値に達していないようです。初年度ということをお断りすることが必要ですが、目標の達成状況等を踏まえた検証が必要であると考えます。

施策名 総合的な緑化・森林整備の実施

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
市民植樹・美しいまちづくり事業			3,904 千円	3,300 千円	特別経費(臨時)			ア	
事業費のうち一般財源			3,904 千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円	千円					

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	3,904 千円	3,300 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	3,904 千円		

局施策の  
21年度評価

**B**

【局施策評価】  
A:大変良い状況にある  
B:概ね良い状況にある  
C:概ね良い状況とまでは言えない  
D:不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	環境局	環境モデル都市推進室
連絡先	582-2239	

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	地域からの低炭素社会への取組み
	取組みの方針	低炭素社会を実現するストック型社会への転換
	主要施策	総合的な緑化・森林整備の実施

関連計画	100万本植樹プロジェクト
事業期間	平成20年度～平成24年度
経費区分	特別経費(臨時)

-2-(1)-

事業名	市民植樹・美しいまちづくり事業
-----	-----------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	希望する市民に対し、人生の記念日に苗木を配布し、樹木を育てることを感じてもらう。また、記念樹植樹をきっかけに各家庭の緑を増やすことで、世界の環境首都にふさわしい都市と自然が共生したうおいのある美しいまちを創る。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	総合的な緑化・森林整備の実施	成果	記念樹の配布数 100万本植樹

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	平成21年度 予定本数:5000本 配布時期:秋・春の年二回配布 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ 配布数:2531本 配布時期:秋・春の年二回 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ	平成22年度 予定本数:5000本 配布時期:秋・春の年二回配布 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ 配布数:1737本(秋配布分) 配布時期:秋・春の年二回(現在秋のみ配布終了) 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ	平成23年度 予定本数:5000本 配布時期:秋・春の年二回配布 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ	平成24年度 予定本数:5000本 配布時期:秋・春の年二回配布 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ	平成25年度 予定本数:5000本 配布時期:秋・春の年二回配布 申し込み:事前申込(専用八ガキ) 広報:ポスター・チラシ・ホームページ			
【実施状況】	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
	わたし記念日～記念樹プレゼントにおける苗木の配布数						計画	5,000 本	年度	平成24年度
	記念樹プレゼントという市民にとって親しみやすく身近な切り口で自分の手で育ててみようといった緑への関心を促す						実績	2,531 本	内容	25000本(H20～H24累計)
	環境首都100万本植樹プロジェクト植樹本数						達成度	50.6 %	年度	平成35年度
市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体による植樹活動を促す						計画	67,000 本	内容	100万本(H20～H35累計)	
						実績	61,145 本	達成度	91.3 %	
【コスト】	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]						事業費	3,904 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	3,904 千円	3,300 千円	
【単年度計画】										

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	<b>実施結果</b> 21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	平成20年度開始事業でありながら、市民の関心も高いことがうかがえる。ポスターの掲示やチラシの配布を区役所や有料公園のみならず、市民の身近にあるスーパーにも置くことにより、広報も強化している。意識改革の第一歩として、まずはこの事業を周知する必要があったが、民間企業の協力を得たことで、より効果的に進めることができた。また、周知徹底により、イベントに興味を持ってもらい、それによって植樹への関心を促すことができた。
-------------------	--	---

【事業の再検証】

【評価】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	記念日の植樹という形を通して、木を植えることを身近に感じてもらう、緑・花・実など目に見える形で美しい景観作りに寄与できた。目に見えることで、緑のある暮らしのよさを実感してもらった。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または同じコストでより高い効果を得られないか。	3	現在、委託業務であるので経費は抑えてはいる。広報の仕方について、ポスター掲示協力企業等増やすなど、もっと効果的に効率的に行えるものを検討したい。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	自然環境や、緑の重要性などへの理解は一朝一夕でできるものではないため、長期的に行う必要がある。また、現在、地球温暖化など環境への関心が高まっている。その関心の高まりの中での実施は、意識向上へ結びつけやすく適期であると考えられる。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	商業ベースではない純粋に緑を育て、楽しむ喜びを伝えるのに市が関与することは非常に有効である。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア 20年度からの新規事業でありながら、配布数も約2600本である。人生の記念日を祝う植樹というコンセプトのもと、緑のある暮らしの有効性など市民意識の向上につながり、環境に配慮した美しいまちづくり推進には継続が必要である。さらに関心を高めるために、人生の節目に係る市民への広報を努める。